

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年5月28日～6月3日)

平成 27 年(2015 年)6 月 5 日

H E A D L I N E S

政治

コモロフスキ大統領, PO の総選挙キャンペーンに参加する意向を表明
 ドゥダ次期大統領, 大統領選挙の当選証書を受領
 コパチ首相, キャメロン英国首相との会談
 NATO北東多国籍軍団の増員

経済

OECD が成長率予測を上方修正
 第1四半期の成長率は3.6%
 5月の倒産は75件
 ポーランドとOECD平均を比較した報告書
 Puławy 社が大規模新規投資計画
 ポーランドの中東欧地域内特許出願件数最多
 ポーランドの雇用の10%以上が輸出関連

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

コモロフスキ大統領、PO の総選挙キャンペーンに参加する意向を表明【5月28日】

5月24日の大統領選挙決選投票にて敗れたコモロフスキ大統領は、28日の与党・市民プラットフォーム(PO) 党員との会合に出席し、大統領選挙における PO からの支援への感謝の意を表した上で、本年10月の総選挙に向けた PO の選挙キャンペーンに自身が参加する意向を表明した。コモロフスキ大統領は、我々は自由で民主的で親欧州のポーランドを守るために戦わなければならない旨述べた。

ドゥダ次期大統領、大統領選挙の当選証書を受領【5月29日】

5月29日、24日の大統領選挙決選投票にて勝利したドゥダ次期大統領は、ヴィラヌフ宮殿にて国家選挙委員会から当選証書を受領した。同式典には、コパチ首相、複数の閣僚、カチンスキ「法と正義」(PiS) 党首等が出席した。ドゥダ次期大統領は、自分は可能な限り全ての国民に仕える大統領になる旨述べた。次期大統領は8月6日に大統領に就任予定。

外交・安全保障

コパチ首相、キャメロン英国首相との会談【5月29日】

5月29日、コパチ首相は、ワルシャワにて、キャメロン英国首相と会談を行い、主に、EUの将来に関する英国政府の提案、EU域内の人の移動の自由の制限につき意見交換した。コパチ首相は、英国で合法的に職を有しているポーランド人及び他のEU加盟国の国民を差別する結果となりかねない英国政府の(移民)政策に断固として反対する立場を表明した。

NATO北東多国籍軍団の増員【1日】

1日より、ポーランド北西部チチェシンにあるNATO北東多国籍軍は、現在の200名から2倍の増員をし、空軍、海軍及び特殊部隊を含んだ400名規模となる。今時の体制強化は、ウクライナ危機に鑑みて決定された。

経 済

経済・財政政策

OECD が成長率予測を上方修正【3日】

OECD は最新の経済観測を発表し、前回11月の発表と比べ、2015年の成長率を3.0%から3.5%へ、2016年を3.5%から3.6%へと大幅に上昇修

正した。また、インフレ率は、2015年は-0.5%だが、2016年に1.3%に回復するとし、また、秋には政策金利を利上げすると予測した。また、財政赤字は対 GDP 比で2015年中に2.7%、2016年に2.4%まで低下するとした。

マクロ経済動向・統計

第1四半期の成長率は3.6%【5月29日】

中央統計局(GUS)によれば、第1四半期の経済成長率の速報値は前年同期比で3.6%となった。内訳は特に投資需要が前年同期比11.4%増と大きく、内需前提でも同2.6%増となっている。また、純輸出の寄与度も1.1%ポイントで、外需がプラスに転じるのは実に2013年第4四半期以来。好調な労働市場及び健全な財政政策を反映し、消費、投資及び輸出のバランスの取れた成長となっている。

2013年の926社より11%程度減少している。

5月の倒産は75件【3日】

5月の倒産件数は、前年同月の79件より減少した75件となった。傾向として、より経営規模の小さい企業の倒産が多くなり、また新規参入企業の倒産は減少している。また、2014年通年の倒産は822社で、

ポーランドとOECD平均を比較した報告書【1日】

OECDは、ポーランドの各種指標を他のOECD加盟国平均と比較した報告書を公表した。その中では、ポーランド人の一人当たり可処分所得(16,234米ドル)がOECD加盟34か国平均(23,938米ドル)よりも少ないことや、一人当たりの労働時間(ポーランド:1,929時間)がOECD加盟国平均(1,765時間)より多いことが示されている。一方、25-64歳の学歴に関し、ポーランドで高校相当の教育を受けている人口の比率はOECD平均75%を上回る89%であり、また、OECDの実施する学習到達度調査(PISA)においても、ポーランドの学生はOECDの平均値を上回っていた。

ポーランド産業動向

Putawy 社が大規模新規投資計画【5月29日】

Grupa Azoty のグループ会社である Putawy 社が2021年までに計22億ズロチの投資を計画している。この計画の中では、発電設備や硝酸生産設備等を導入することとしており、同社は、この投資により、プラントの生産性が向上やエネルギーの自社供給等が達成されると述べている。

ポーランドの中東欧地域内特許出願件数最多【5月29日】

ポーランド情報・外国投資庁によると、ポーランドは、2014年の特許出願件数が中東欧で最も多かったという。昨年、ポーランドからの欧州特許庁(EPO)への申請件数は475件であった。2位はチェコで167

件であった。ポーランド国内で有効な特許の75%がEPOより発給されたものであり、また、こうした特許の多くはポーランドで活動する外国企業のものであるという。

ポーランドの雇用の10%以上が輸出関連【1日】

欧州委員会は、EUの輸出が雇用情勢に与える変化をまとめた報告書を発表した。ポーランドに関しては、全雇用の約12%に当たる約200万の雇用が輸出関連のものであるという。同報告書では、仕向地別の分析等も行われており、ポーランドから独向けの輸出関連の雇用は20万であったが、これは、EUにおける独向けの輸出関連雇用の最も多かったという。

エネルギー・環境

EDFが新発電設備建設を計画【3日】

EDF社とポーランド投資開発(PIR)は、トルンに330MWクラスの高圧ガス火力発電所を建設することに合意した。このプロジェクトは現在の石炭火力発電設備を置き換えるもので、2017年の完成を予定している。総額5.5億ズロチであり、そのうち2.75億ズロチはPIRが

出資することになるという。両社は、今回のプロジェクトは、EUの環境基準への適合を目指したものであることやポーランドのエネルギー政策に沿ったものであると述べている。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)

現在、当館ホームページ上 <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho27.1semester.pdf> にて、平成27年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 展覧会:日本の織物展「The Beauty of Many Weaves/ Wielowatkowe Piekno」【6月2日(火)～9月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館にて、日本の織物デザイン及び技術に関する展覧会が開催中です。

開催場所:クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細:<http://manggha.pl>

【予定】ポーランド科学アカデミー植物園ピアノフェスティバル【～6月14日(日)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園主催による「国際ピアノフェスティバル」が開催され、日本人ピアニストの演奏が行われます。

スケジュール:

6月7日 14時 カワベサチエ

6月14日 14時 ミヤケショウコ

6月14日 15時 ノムラアリサ

開催場所:ポーランド科学アカデミー植物園, ul. Prawdziwka 2

詳細:<http://www.ogrod-powsin.pl/>

【予定】第16回ポーランドジュニア剣道選手権・第11回ポーランド青年剣道選手権【6月6日(土)】

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による『第16回ポーランドジュニア剣道選手権・第11回ポーランド青年剣道選手権』が開催されます。

開催場所:ビドゴシチ市, Hala sportowa Zespołu Szkół nr 16, ul. Koronowska 74

詳細:<http://mpjim2015.kendo.bydgoszcz.pl>

【予定】第4回ポーランド将棋選手権, 第4回ポーランド・オープン将棋選手権大会【6月6日(土)～7日(日)】

ヴロツワフ市にて、ポーランド将棋協会主催による『第4回ポーランド将棋選手権及び第4回ポーランド・オープン将棋選手権大会』が開催されます。

開催場所:ヴロツワフ市, Miejska Biblioteka Publiczna, Filia nr 42, ul. Serbska 5a

詳細:<http://www.pzshogi.pl/index.php/pl/>

【予定】会議:「ホロコーストから救済した人と生き残った人・ポーランドにおける記憶」【6月11日(木)～12日(金)】

ワルシャワ市にて、ステファン・ヴィシンスキ大学主催による会議『ホロコーストから救済した人と生き残った人・ポーランドにおける記憶』が開催されます。杉原千畝に関する講義が予定されます。

開催場所:ワルシャワ市, ステファン・ヴィシンスキ大学, ul. Woycieckiego 1/3

詳細:<http://migracje.uksw.edu.pl/node/86>

【予定】第3回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」【6月13日(土)】

ノバ・サジナ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第3回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」』が開催されます。

開催場所:ノバ・サジナ市, Hala Sportowa MOSIR, ul. M. Konopnickiej 2

詳細:<http://www.karate.lezajsk.pl/>

【予定】XLPL 駅伝競走【6月14日(日)】

ポズナン市にて、XLPL 基金主催による『XLPL 駅伝競走』が開催されます。

開催場所:ポズナン市, Hotel HP Park Poznan, ul. Baraniaka 77 (スタート地点)

詳細:<http://www.xlplekiden.pl/>

【予定】よっこ氏による演舞「舞踏 メディア」【6月16日(火)】

ワルシャワ市にて、シレナ劇場主催による『よっこ氏による演舞「舞踏 メディア」』が開催されます。

開催場所：ワルシャワ市，シレナ劇場，ul. Litewska 3

詳細：<http://teatrsyreana.pl/lista-spektakli/szczegoly.html?id=79>

【予定】国際柔道選手権大会 ソラニンカップ2015【6月20日(土)～21日(日)】

ノヴァスル市にて、スポーツクラブ「Olimp」主催による『国際柔道選手権大会 ソラニンカップ 2015』が開催されます。

開催場所：ノヴァスル市，Hala Elektryka， ul Piłsudskiego 61

詳細：<https://www.facebook.com/events/1603729763193406/?ref=98>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）